

民生委員制度創設106年目を迎えました

みんなでつろう 地域のつながり 支え合い



写真は2022年度、杉山 鈴子会長のもと、雪谷地区担当の民生委員・児童委員33名の方々です。昨年11月7日、雪谷特別出張所内での退任者を送る「お別れ会」の一枚です。26年間務められた方もいらして、私を含め12名の退任者のうち、団塊の世代の定年は7名でした。

令和2年のコロナ禍以来、マスク越しの活動は新旧委員の親睦も図れず戸惑いの連続でした。自主活動のゆきがや広場も地域の子供達との楽しい交流も、次々と中止となり、お訪ねするひとり暮らしの方々との親交も深められず、電話での安否確認のみとなりました。地域包括支援センターの方々には大変助けられました。今年こそ対面での活動の再開を祈るばかりです。

さて委員になり間もなく、2017年の夏民生委員制度創設100周年の全国大会が東京で開催されました。全国各地から招かれた委員の方々の溢れる熱気が甦ります。東京国際フォーラムでの誘導係の経験は、私のその後のささやかな活動の励みとなりました。脈々と受け継がれてきた先人の歴史を心から誇らしく思いました。今年はその106年目にあたります。

退任にあたり、改めて民生委員児童委員手帳の冒頭の信条と児童憲章を読み上げてみました。

多くの方々との出会いを通して、地域で生きる豊かで大きな学びと気づきに養われた、私の2期6年でした。

これからも行政の発信をキャッチしつつ、充実した地域福祉の成長を荷う一人でありたいと願っています。

初春を祝い「心ふれあい歴史と出会う水と緑と坂のまち」雪谷地区がいつまでも平和でありますように…。

(池の台・柏三八子)

雪谷地区の表彰者

○令和4年度東京都青少年健全育成成功労者等表彰

(模範青少年団体)

小池自治会剣道部

○東京都民生委員・児童委員大会

東京都知事規則表彰(在職20年以上)

米川 千穂子

東京都知事特別功労賞(在職17年以上)

大越 憲子 上野 由利子

○第50回東京都消防操法大会 可搬ポンプ操法の部 優勝

田園調布消防団(代表:第八分団)

(敬称略)

自治会ル一記事：希望ヶ丘自治会

「自治会報」を毎月発行しています

希望ヶ丘自治会では平成22年7月から毎月「自治会報」を発行しています。12年間半休まず発行しているので、今月号で第151号になります。「自治会報」は、自治会の行事・連絡事項並びに地域力推進委員会や定例自治会長会で話題になった事項の中で、自治会員の皆様に知らせておいた方がよいと思われる情報をまとめて、見出し付きの記事にしたものです。それをA3サイズ表裏の印刷物として大田区報と一緒に自治会員に配布しています。

「自治会報」の発行に至った理由は、自治会員の方に自治会活動を理解していただきたいのと、自治会役員だけでなく必要と思われる情報を自治会員の皆様にも共有していただきたかったからです。

「自治会報」と「自治会の回覧物」については、「自治会・町会のホームページを作ろう!」で習った手法に基づき作成した当自治会のホームページに、それらをPDFファイルにして貼り付けていますので、他の自治会の皆様も一度ご覧になってください。URLは<https://sites.google.com/view/ota-kibougaoka/>です。

自治会内の読者からは「自治会報」の内容に好評を博しているため、これからも自治会員の皆様に役立つ案内・情報をお届けしたいと思っています。

(希望ヶ丘・小松克一郎)



お詫びと訂正

「ふれあい雪谷」令和4年10月もみじ号(第128号)について、誤りがありました。訂正してお詫び申し上げます。

訂正箇所 「仲池上一丁目でスーパー少女発見!!」8行目

誤: 雪谷中 正: 馬込中

＊ ＊ 編 集 後 記 ＊ ＊

あけましておめでとうございます。

お正月らしく新年号は八幡神社の特集です。私達の住む雪谷地区には2つの八幡神社と千束地区の八幡神社と3つの八幡神社に守られています。

子安八幡神社の新社殿の裏手に回り、木の香を感じながら新幹線を眺め、雪ヶ谷八幡神社では大横綱大鵬関の手形に手を重ね、意外と小さい手なのに驚き、表紙の千束八幡神社では、源頼朝と共に名馬池月(いけつき)に思いを馳せてみてはいかがでしょうか。

こんな新年の散歩をしてみませんか。

(東雪谷東中・小山 智恵子)

[編集委員]

笹丸・小久保 衡子/雪谷石川台・倉田 清子/南雪谷・河野 洋一郎/

東雪谷東中・小山 智恵子/池の台・柏 三八子/小池・小山 憲生/上池上・船山 康夫

ふれあい雪谷(創刊:平成2年12月20日) 年4回発行

(1月:新年号/4月:さくら号/7月:あさがお号/10月:もみじ号/の1日発行)

[発行日] 令和5年 新年号 1月1日(通巻:第129号) 発行

[発行] 地域力推進雪谷地区委員会 [編集] 雪谷ふれあい雪谷編集委員会

[連絡先] 大田区地域力推進部雪谷特別出張所

〒145-0065大田区東雪谷三丁目6番2号 ☎3729-5117 FAX3729-1826

地 域 情 報 紙

ふれあい 雪 谷

令和5年1月 新年号 通巻第129号



千束八幡神社

池のたもとを巡り、三連の太鼓橋・池月橋を渡ると左手に色鮮やかな朱色の一の鳥居。それをくぐり抜けると、石造りの二の鳥居へと続きます。歴史ある社殿は、階段を登り切った一番奥に、鎮座しています。

小池・今成 修さんの作品

「ふれあい雪谷」のホームページは
こちらからご覧いただけます。





特集 八幡神社からみる雪谷地区

八幡神社は村の鎮守として信仰され、近世後期の大田区域内には26社の八幡神社が存在しました。現在雪谷地区には子安八幡神社と雪ヶ谷八幡神社の2社があります。初詣で神社に足を運ぶ機会が多くなるこの時期、八幡神社を通して雪谷地区の歴史や文化に触れてみませんか。

雪ヶ谷八幡神社

雪ヶ谷八幡神社の創建は永禄年中（1558～1569）、北条左京太夫氏康の家臣、太田新六郎（太田道灌の曾孫）が管内巡視の際、当所において法華經曼荼羅の古碑を発掘し、その奇瑞に八幡大菩薩を祀ったのが創始とされ、爾来、旧中原街道沿道随一の由緒深き神社として諸人の崇敬を受け、雪ヶ谷の里、氏子6自治会（希望ヶ丘・東雪谷東中・東雪・笹丸・雪谷石川台・南雪谷）の鎮護の神として、多くのご参拝を頂き、今に至ります。

社殿は昭和20年5月戦火により焼失し、氏子崇敬者の赤心のもと昭和34年8月に現社殿が造営されました。境内には氏子崇敬者の祖霊を祀る齋霊殿（いつれいでん）、稲荷社や天神社などの末社8社、大田区文化財指定庚申供養塔群、不世出の大横綱大鵬関奉納の出世石などがあり、鎮守の杜は四季折々人々の憩いの場として親しまれています。

年明け初詣に始まり、2月節分追儼（ついな）式前夜祭、3月お人形感謝祭、5月泣き相撲、6月夏越大祓（なごしおおはらえ）、9月例大祭、11月七五三詣、12月年越大祓に至るまで多くの恒例祭典が行われ、3月防災訓練、4月新入学児童安全祈願祭、5月こいのぼりお絵かき、夏休みラジオ体操会、もちろん9月祭礼は自治会と連携し行われます。

神社は氏子崇敬者の皆様のお支えにより、共に歩んで参りました。これからも地元の氏神様として、地域の発展とご安寧を願い、地元の皆様と歩んで参ります。

（雪ヶ谷八幡神社宮司・北川 正訓
取材：笹丸・小久保 衡子）



〈雪ヶ谷八幡神社 社殿〉



〈雪ヶ谷八幡神社 神額〉



〈雪ヶ谷八幡神社 出世石〉



〈子安八幡神社 神額〉



〈子安八幡神社 鳥居〉



〈子安八幡神社 社殿〉

子安八幡神社

森の鎮守様

私たち、「上池上自治会」内には、「子安八幡神社」が鎮座しています。子安八幡神社には、上池上の他に、小池、池の台と広い範囲でご加護をうけています。毎年9月の第一曜日に例大祭を開催し地域の安寧を祈っていますが、昨年は10月10日（祝）に本殿落成記念・例大祭を執り行い、近隣の皆様とともにお祝いをいたしました。（例大祭の神事は、9月4日に、コロナウイルスも関係し役員だけで執り行いました）

子安八幡神社が新しくなりました

子安八幡神社は、鎌倉時代の1256年6月14日に、領主池上右衛門太夫宗仲が鎌倉・鶴岡八幡宮を分祀したことに始まります。そしてかつての上池上町の鎮守様としてあがめられてきました。その後、子安八幡神社は大正14年7月30日に神殿が焼失したことにより、昭和2年9月1日に建て直しました。

しかし、この神社も長い年月による老朽化のため傷みが激しく、令和2年より建て直すことになり、令和3年に着工、令和4年夏94年振りに完成いたしました。

10月10日は、お祝いに華を添えるべく、神輿4基を組上げ、舞・雅楽が奉納され、コロナウイルス禍久しぶりの華々しい時間を堪能しました。

（上池上・船山 康夫）